(8割以上)

学校教育目標 **\*あかるく \*つよく \*カ>しこく \*なか>よく**目指す学校像 ◆ 地域とともに発展する学校 ◆ 職員みんなが力を発揮する学校

 成 B 概ね達成 (6割以上)

 度 C 変化の兆し (4割以上)

 ※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。

 ※変え場響は重点目標の番号と対応される。評価項目は対応した計価項目は複数設定可。

達 A ほぼ達成

1 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)で実現させる学びの自律と個別最適化、探究化 2 一人ひとりの多様な幸せ(Well-being)を実現する未来の教育の実現

重 点 目 標 3 地域の高い教育力を生かしたコミュニティ・スクールの推進

4 子どもの安全を守り抜く教育環境の整備

5 子どもの可能性を最大限に伸ばす教職員の資質向上研修の充実

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、 方策の評価指標」を設定。

					評 価		学校運営協議会による評価
	年	度		н с		度 評 価	実施日令和 年 月 日
番号	!		具体的方策	方策の評価指標		達成度 次年度への課題と改善策	夫ルロマヤ キ 月 ロ 学校運営協議会からの意見・要望・評価等
笛 5	(現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均と比べ概ね 良好な結果である。	・誰一人取り残さない多様な子どもの学びの充実	①学期に1回の授業公開で、学びのポイントによるICTを活用した授業を実	①②主体的な問題解決を楽しむ子どもの 姿の実現。	計画を見りが手及び心	(大千文· V/)陈超 C 以音水	<b>テ以座自伽政公がり</b> が念元・安里・計画守
1	〈課題〉 ○昨年12月「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」諮問の中で、我が国の初等中等教育の第一の課題として【学ぶ意義を見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない】点を挙げている。本校においても、同様の課題があると捉えている。	・学びの自律 化・探究化に 向けた情報端 末の活用、授 業改善	①学びの指標で把握した課題に対する克服への日常的な取組に対し、学年会・本部会等で情報交換を行い、互いに助	①②学びの指標において、教員が課題を 把握し、2回目の調査で8割の教員 が課題を改善。			
2	<ul><li>〈現状〉</li><li>○不登校や不登校傾向の子ども、様々な特性をもつ子ども、様々な配慮を要する子どもなど、多様化している。</li><li>〈課題〉</li><li>○様々なストレスや不透明感、生活の変化が子ど</li></ul>	とりへの細や かな教育支 援・相談に向 けた校内体制 の充実	組織的な対応の充実により、個に応じたきめ細やかな支援を行う。 ②子どもにとって学校の一番の居場所は「担任の懐」であることを肝に銘じ教育愛溢れる人間教育を実践する。	徒指導主任等が中心となり、担任のみに抱え込ませず、組織的な支援が日常的に実践できたか。 ②子どもアンケート、保護者アンケートにおいて、関連する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。			
	もの心身に与える影響が大きいことから、今後 も、子ども一人ひとりの状況を的確に把握し、 適切なタイミングで組織的に支援・相談してい く体制、仕組みづくりが課題である。	<ul><li>・エージェンシーを育成する</li><li>特別活動等の充実</li></ul>	いある豊かな学校を自分たちの手で 実現させていく自治的活動を行う。 ②子どもを主体として、日進七夕まつり の取組を行う。	が見られたか。 ②子どもの言葉で、「つばさらしさ」が 語れる姿がみられるようになったか。			
3	〈現状〉 ○登下校の見守り活動や、チャレンジスクール等の学校支援活動など、自治会・育成会・PTAを中心としたスクールサポートネットワークからの支援を得ながら、地域学校協働活動が充実している。	ルと学校HP を活用し、積 極的な情報発 信を行う ・学校運営協議	新 ②必要に応じた学校安心メールの発信により、情報が細かく各家庭に伝わるように連携強化 ①学校運営協議会において、学校・家	月 3) ①②学校評価の地域連携に関する肯定的			
	<ul><li>〈課題〉</li><li>○つばさ小学校の子どもたちに「付けたい力」</li><li>を、全子ども・保護者・地域と共有し、さらに、実現に向けた具体的行動を起こす。</li></ul>	会を核とした 課題解決に取 り組む学校を 実現	い力」に係る具体的な取組等について	評価の向上 (R6:99.0%)			
4	〈現状〉 ○熱中症から子どもを守る「エアコン」については、R7年度が「設計」R8年度に「普通教室のエアコンが最新型に入れ替え」の予定。	J. = J. = 0. D.	①日常の安全点検と安全指導の徹底 ②登下校の安全に係る指導とPTA、地域との連携 ③各種避難訓練や、各種安全研修の実施	①②③日常的な安全点検の実施と改善箇 所の発見日に即日対応。			
	〈課題〉 ○体育館の雨漏り・窓の開閉等の課題は、引き続き市へ要請継続。学校現場のレベルでできる取組の充実・深化。	・子どもによる 「安全な生活・ 美しい環境」 の取組	①保健委員会・生活安全委員会・栽培委員会・整美委員会等子どもによる「安全な生活・美しい環境」に係る活動の実施				
5	(現状) ○新たな学びのスタイルの中心となる、1人1台端末をはじめとしたICTの活用方法について、研修を重ねてきた。 〈課題〉	せるため、常 に笑顔と明る さのある職場 を築く	織的に課題解決に当たる。 ②業務分担の見直しや補助を入れるな ど、具体的な改善を実施。				
	<ul><li>○1人1台端末の効果的な活用について、定期的に情報交換を行い、学級差を生じさせない取組が必要である。</li><li>○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に課題がある。</li></ul>	<ul><li>自分の学校を 誇りにの思いる事 がでいるのは を を で の の の の の の の の の の の の の</li></ul>	職員の研修意欲に火を灯す。 ②職員が研修で得たよい情報等は、 teams を活用し、全職員に共有する。	①②③「関東甲信越地区小学校理科研究 大会」に向けて、研修に全職員が 一丸となり取り組んでいけたか。			